



構内に出没中のためき



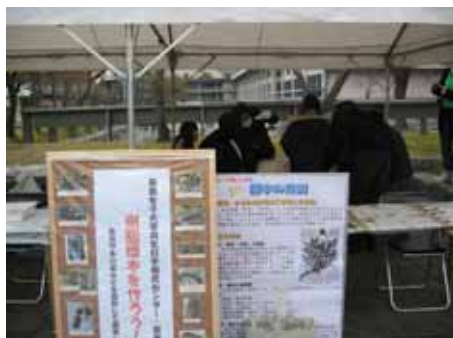
「ソメイヨシノ」の実

前回のレター発行時に咲いていた桜も、赤い実をつけています。もうすぐ7月に入ります。前期授業の終わりを控え、学生は試験勉強に、先生方は問題作成、採点、レポート添削と忙しくされてることでしょう。適度な休憩を忘れないでくださいね。

## 1. 産学官連携推進部門活動報告

### 第3回 奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル(3/18, 19)

暮らしと環境をテーマとした「奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル～We Love Eco-Life～100%エコライフ体感！」が3月18、19日に、奈良県文化会館で開催されました。共生科学研究センターのブース出展に本推進部門も協力させていただきました。



### 「ソリューションビジネスフェア」(3/23)

奈良県文化会館ホールで行われました。そな銀行奈良地域主催の「ソリューションビジネスフェア」で本学の産学官連携推進部門の活動や問い合わせ方法、などをコーディネーターよりご紹介いたしました。

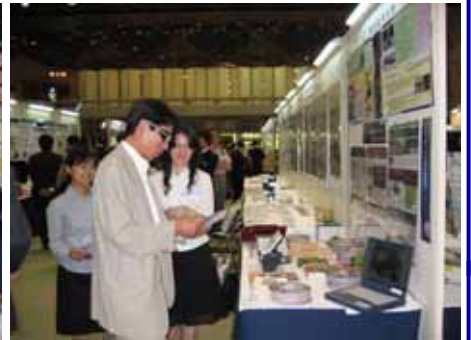
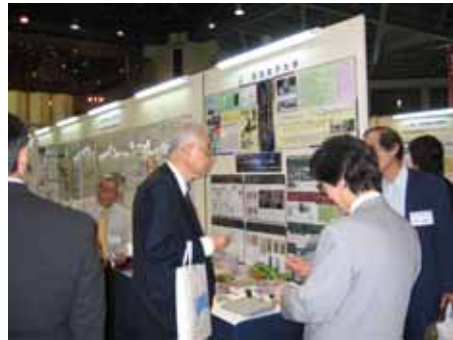
### 近畿経済産業局 福水局長講演会(4/27)

近畿経済産業局 福水局長をお招きし、学生対象の講演会を開催しました。大学院会議室は満室となる80名超の聴講の中、約1時間をかけ、詳細なデータをもとに「変動する社会の中で、ネーミングにとらわれずにしっかりと自分の目で会社選びを行って欲しい。そのためには新聞をよく読むこと。海外旅行する機会があれば是非成長著しい中国などを自分の目で見て肌でその活力を感じてきてほしい。」というお話をいただきました。また、本学卒業生で現在近畿経済産業局勤務の吉武あやかさんから「気づかないかもしれないけど、学生時代に多くある時間を有効に使ってほしい。」と語っていただきました。さらに卒業生で現在本学監事の上野祐子さん、近畿経済産業局からこの4月に日本貿易保険に出向されています花内美佐子さんからも質疑応答での短い時間でしたが学生さんにエールをいただきました。講演に出席した学生からは後日に「講演いただいた先輩に相談したいことがあります」との話も社会連携センターに寄せられ、学生の心に何か響いた講演会でした。



## 第5回産学官連携推進会議(6/10、11)

年度の初めに行われます産学官連携の推進を担う大学や企業の第一線のリーダーや実務担当者約3000-4000名が一同に会する会議が新緑に囲まれた国立京都国際会館で行われました。松田岩夫科学技術政策担当大臣の基調講演や御手洗富士夫 社団法人日本経済団体連合会会長の特別講演がメインホールで行われるなか、イベントホールでは本学を含め企業・大学・研究機関・自治体等の研究成果デモや紹介が繰り広げられていました。今年のブース展示では全体ポスターのほか、シミュレーション技術紹介コーナーと、文系の地域貢献と題したパネルを準備しました。シミュレーション部門では大学院人間文化研究科 城研究室の院生2名が自分達の研究を説明し、学外の方の反応を肌で感じることができたよい機会となったようです。



## 2. 各種公募情報(1) JST 産学共同シーズイノベーション化事業

【公募時期】 ~平成18年7月18日

【問い合わせ】 <http://www.jst.go.jp/innovate/innov/index.html>

大学・公的研究機関等の基礎研究に着目し、産業界の視点からシーズ候補を顕在化させ、大学等と産業界の共同研究によってイノベーションの創出に繋げることを目的とする事業です。大学等の研究報告会等を通じて潜在的なシーズ候補を産業界の視点により顕在化し、産学が協力して実現可能性を検証するための試験及び調査を行います。

【研究開発費】 800万円程度/課題

【期間】 最長1年

【提案方法】 大学等と企業が連携して応募

【募集期間、採択予定課題数】

【110課題程度(3期公募総数)】

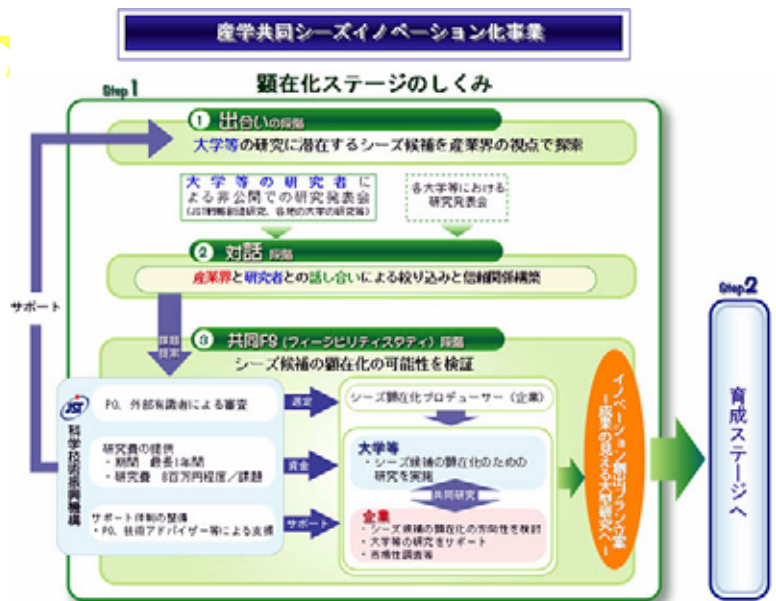
【申請書の提出期限】

~~第1回：平成18年5月31日(水)~~

第2回：平成18年7月18日(火)

第3回：平成18年8月28日(月)

手続きはコーディネーター藤野のほうで行います。内線3734、もしくは下記 c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp までご連絡ください。



### 3. 各種公募情報(2)

公募情報についてはリアルタイムに  
下記WEBにて随時公開中です。

<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

#### (財)国際科学技術財団 H18年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年7月14日

【問い合わせ】<http://www.japanprize.jp>

【助成対象】領域1：物理、化学などの基礎研究が発信する革新的デバイス  
領域2：共生の科学と技術

【応募要件】35歳未満(H18.11.30現在)で国内で継続した研究が可能であること(留学生可)

【助成金額】1年間 100万円程度

#### (財)内藤記念科学振興財団 第1回内藤記念女性研究者研究助成金

【学内締め切り】～平成18年9月15日

【問い合わせ】<http://www.naito-f.or.jp>

【助成対象】人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を挙げることを支援する目的で、研究に必要な経費を補助する。

【応募要件】出産日から職場復帰(予定日)までが3年以内の女性研究者

【助成金額】300万円/年の3年間

#### (財)内藤記念科学振興財団 第1回内藤記念フェローシップ(サバティカルリーブ)

【学内締め切り】～平成18年8月7日(秋季分)

【問い合わせ】<http://www.naito-f.or.jp>

【助成対象】人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、研究実績をあげた中堅研究者に対して、一定期間異なる文化圏に滞在することによって以後の研究に飛躍的な発展を期待し、国内外(主として海外)の大学等研究機関に滞在するための渡航費、経費ならびに研究費を補助

【助成金額】月額25万円

#### (財)松尾学術振興財団 第10回松尾学術賞(A) 第19回松尾学術研究助成(B)

【学内締め切り】～平成18年7月10日

【問い合わせ】<http://www.matsuo-acad.or.jp/>

【助成対象】A.原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクス分野において業績の顕著な研究者  
B.原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学などに関する研究

【助成金額】A.100万円 B.上限500・300万円

#### (財)ユニバーサル財団 H18年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年7月10日

【問い合わせ】<http://www.univers.or.jp/univers.html>

【助成対象】「豊かで活力ある長寿社会の構築をめざして」を基本テーマとした研究

【応募要件】博士前期課程在籍者の申請は指導協力教員を必要とする

【助成金額】100万円/1件

#### (財)日本証券奨学財団 H18年度研究調査助成

【学内締め切り】～平成18年7月28日

【問い合わせ】<http://www.jssf.or.jp/>

【助成対象】法学、経済学、社会学、理学及び工学

【応募要件】個人研究は55歳以下 グループ研究の代表者又はこれに準ずる方は55歳以上も可

【助成金額】100万円/件

#### (財)稲盛財団 H19年度稲盛財団研究助成金

【学内締め切り】～平成18年7月14日

【問い合わせ】<http://www.inamori-f.or.jp/>

【助成対象】自然科学系、人文・社会科学系 H19年度優先分野「材料科学」、「地球科学・宇宙科学」

【応募要件】自然科学系では40歳以下の若手研究者を優先

【助成金額】100万円/1件

(財)慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団 H18年度研究助成

【公募時期】～平成18年7月10日着

【問い合わせ】<http://www.taishitsu.or.jp/JHF/>

【助成対象】 A.中・高齢者の健康増進に関する研究 B.老化に影響を及ぼす因子の解明

【助成金額】 20～100万円/件 2年以内

(財)光科学技術研究振興財団 H18年度研究助成(A)・研究表彰(B)

【公募時期】～平成18年8月31日

【問い合わせ】<http://www.refost-hq.jp/kenkyu.html>

【助成対象】 光科学技術に関する研究 H18年度課題

光科学の未知領域の研究-とくに光の本質について / 細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究

【助成金額】 総額3,200万円(A) 原則2年以内

(財)浦上食品・食文化振興財団 H18年度研究助成

【公募時期】～平成18年7月31日(着)

【問い合わせ】<http://www.urakamizaidan.or.jp/subsidy.htm>

【助成対象】 食品の生産・加工及び安全性等に関する研究並びに食文化に関する研究

【助成金額】 200～300万円 原則1年

(財)新村出記念財団 H18年度研究調査助成

【学内締め切り】～平成18年8月31日

【助成対象】 国語学・言語学及びこれに関連する分野

H18年度研究助成(A)・刊行助成事業(B)・新村出賞公募(C)

【助成金額】 (A)60万円/件 (B)上限100万円/件 (C)100万円

(財)大和証券ヘルス財団 H18年度調査研究助成

【公募時期】～平成18年7月31日(消印有効)

【問い合わせ】[http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsh\\_info2006.html](http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsh_info2006.html)

【助成対象】 中・高齢者の保健・医療及び福祉等に関する調査研究

【助成金額】 100万円/研究

公益信託 田島毓堂語彙研究基金 H18年度研究活動助成(A)・学術賞(B)

【公募時期】～平成18年7月20日(消印有効)

【問い合わせ】<http://www.soc.nii.ac.jp/goi-ken/index.html>

【助成対象】 語彙研究分野

【助成金額】 総額50万円(A) 上限50万円(B)

【応募要件】 大学院生も応募可

(財)日産科学振興財団 H18年度理科/環境教育助成

【公募時期】～平成18年7月31日

【問い合わせ】<http://www.nissan-zaidan.or.jp/>

【助成対象】 理科教育、環境教育

【助成金額】 H18.11～1年間 40万円/1件

【応募要件】 院生を含む WEB申請のこと

(財)上原記念生命科学財団 H18年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年8月18日

【問い合わせ】<http://www.ueharazaidan.com/>

【助成対象】 生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関する研究

A.研究助成金 B.研究奨励金(若手研究者(S44.4.1以降出生の研究者))

【助成金額】 研究助成金 500万円以下 3ヶ月 研究奨励金 200万円以上/年 3年

(財)日本自然保護協会 2006年度プロ・ナトゥーラ・ファンド助成

【公募時期】～平成18年7月15日(消印有効)

【問い合わせ】<http://www.nacsj.or.jp/pn/oubo/oubo2006.html>

【助成対象】野生動植物・生態系の保全についての研究等

A.国内研究助成(1年) B.国内活動助成(1年) C.国内長期事業助成(2年)

【助成金額】総額2,600万円 概ね100万円/件

(財)ノバルティス科学振興財団 H18年度研究奨励金

【学内締め切り】～平成18年8月25日

【助成対象】生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域における創造的な研究 100万円/1件

【問い合わせ】<http://www.novartisfoundation.jp/>

【応募要件】原則として博士号を有する研究者

ダノン健康・栄養普及協会 2007年度研究助成金

【公募時期】～平成18年8月25日

【問い合わせ】<http://www.danone-institute.gr.jp/research/index.html>

【助成対象】A.「栄養と健康に関する基礎的・臨床的研究」 150～200万円/年

B.「栄養と健康に関する若手研究者による研究」 80～100万円/年

【応募要件】B.40歳未満(H18.12.31現在)

(財)医科学応用研究財団 H18年度調査研究助成

【学内締め切り】～平成18年7月14日

【問い合わせ】<http://www.suzukenzaidan.or.jp/>

【助成対象】課題Aより豊かな生活に貢献する医療技術に関する研究 500万円以下

課題B.生活習慣病における医学、薬学の萌芽的研究 200万円以下

【応募要件】課題B.満45歳以下(S35.8.1以降生れ)の研究者

(財)旭硝子財団 H19年度自然科学系研究助成

【学内締め切り】～平成18年8月11日

【助成対象】物質・材料、生命・生物、情報・制御、環境・エネルギー

【問い合わせ】<http://www.af-info.or.jp/jpn/subsidy/natural/index-2006.htm>

【応募要件】奨励研究 45歳以下(H18.8.31現在)

【助成金額】特定研究2年 500万円/件 奨励研究1又は2年 200万円/件

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構) 産業技術研究助成事業平成18年度第2回公募

【公募時期】～平成18年7月21日 17:00

【問い合わせ】[http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180619\\_1/180619\\_1.html](http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180619_1/180619_1.html)

【助成対象】1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノテクノロジー・材料 5.製造技術

6.エネルギー 7.革新的融合 8.産業技術に関する社会科学

【助成金額】上限5千万円(4年) 1～6.上限3千万円(2年) 8.上限1千万円 9.上限4千万円

【応募要件】1～6.40歳未満 7,8.45歳未満 いずれもH18.7.14現在

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構) H18年度第2回大学発事業創出実用化研究開発事業

【公募時期】～平成18年7月12日 17:00

【問い合わせ】[http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180501\\_2/180501\\_2.html](http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/180501_2/180501_2.html)

【助成対象】A.事前調査事業(F/S) B.研究開発事業(R&D)

分野: 1.ライフサイエンス 2.情報通信 3.環境 4.ナノテクノロジー・材料 5.エネルギー 6.製造技術 7.社会基盤 8.IT分野

【助成金額】A.200万円以下(3ヶ月) B.1千万円以上/年(3年)

(財)栢森情報科学振興財団 H18年度研究助成

【公募時期】～平成18年8月31日

【問い合わせ】<http://www.kayamorif.or.jp/oubo18.html>

【助成対象】情報科学に関する研究

A.研究助成 B.フォーラム・シンポジウム等開催助成

【助成金額】A.最高200万円 B.最高100万円

(財)岩谷直治記念財団 H18年度岩谷科学技術研究助成金候補者推薦

【学内締め切り】～平成18年7月10日(消印有効)

【助成対象】エネルギー、環境に関する重要かつ独創的な研究開発

【助成金額】上限200万円 2-3年以内

(財)生協総合研究所 第4回生協総研賞「研究奨励」募集

【公募時期】～平成18年7月31日

【問い合わせ】[http://www.co-op.or.jp/ccij/kenkyukai/ken060510\\_01.htm](http://www.co-op.or.jp/ccij/kenkyukai/ken060510_01.htm)

【助成対象】生協の実態と役割 暮らしと市民社会

【助成金額】個人研究:上限30万円/1件 共同研究:上限80万円/1件 1年間

【応募要件】大学院生を含む若手の研究者や、生協役職員の研究助成が重視される

## 4. 社会連携センター 常備グッズ



社会連携センターでは、研究会や各種イベント用にこのようなものを常備しております。必要な方は、研究協力課 3734までご連絡ください。



## 5. 今後の予定

10月26日、27日：南都銀行ビジネスフェア



産学官連携推進部門 スタッフ 城和貴(人間文化研究科) 相馬秀廣(文学部) 遊佐陽一(理学部) 今岡春樹(生活環境学部)  
鍛冶幹雄(社会連携センター) 藤野千代(産学官連携コーディネーター) 吉田和男(研究協力課) 小田原孝次(研究協力課  
研究協力係) 境雅歳(研究協力課 研究協力係) 川村泰史(研究協力課 社会連携推進係)